

千葉氏と南北朝の内乱

鎌倉時代の終わり頃、千葉氏の
 本家は下総の千葉氏と九州の千葉
 氏に分かれましたが、南北朝の内乱
 が起きると、両者とも有力者を背景
 として主導権を争うことになりました。
 つまり、下総千葉氏の胤宗
 の子貞胤は南朝の新田義貞につ
 き、九州千葉氏の宗胤の子胤貞は、
 足利尊氏の北朝について戦うこと
 になりました。両者は、下総国の
 千田庄(千葉県多古町)や千葉城
 (千葉市)などで戦いましたが、
 新田義貞が足利尊氏に敗れると貞
 胤は、足利尊氏に降参しました。
 このため両者の戦いも終わること
 になりました。以後、胤貞の家系
 は九州の所領に土着して新たな発
 展を求めようになります。

※足利尊氏・北朝の武将。室町幕府の最初の将軍。

※新田義貞・南朝の武将。

◇ 鎌倉幕府の滅亡 ◇

元弘3年(1333)後醍醐天皇の挙兵に呼応し
 た新田義貞が上野国で挙兵し、鎌倉を攻めた。
 敗れた執権北条高時は、一族とともに鎌倉で自
 害し、鎌倉幕府は滅亡した。



新田義貞像 総持寺蔵

上野国新田庄(群馬県太田市)を本拠
 地として勢力を振るった豪族。

元弘3年(1333)、上野国で挙兵。
 武蔵国分倍河原で幕府軍を破り、鎌倉
 に進攻して幕府を滅亡させた。南北朝
 の争乱には南朝の武将として活躍。

(写真提供: 来毛歴史資料館)



足利尊氏画像 尾道市浄土寺蔵

足利尊氏は、元弘3年(1333)鎌倉幕府の命で出陣した
 が、丹波国で倒幕に転じ、六波羅探題を滅ぼした。建武3
 年(1336)7月、光明天皇を奉じて室町幕府を創設。

(写真提供: 栃木県立博物館)



北条高時終焉の地 鎌倉東勝寺跡

鎌倉幕府最後の執権。元弘3年(1333)鎌倉幕府が滅亡
 した際、鎌倉の東勝寺で一族とともに自害する。

